

## 令和4年予算決算委員会会議録

1. 招集年月日 令和4年2月28日
2. 招集の場所 可児市役所議場
3. 開 会 令和4年2月28日 午前8時58分 委員長宣告

### 4. 審査事項

#### 審査事件名

- 議案第1号 令和4年度可児市一般会計予算について
- 議案第2号 令和4年度可児市国民健康保険事業特別会計予算について
- 議案第3号 令和4年度可児市後期高齢者医療特別会計予算について
- 議案第4号 令和4年度可児市介護保険特別会計予算について
- 議案第5号 令和4年度可児市自家用工業用水道事業特別会計予算について
- 議案第6号 令和4年度可児市農業集落排水事業特別会計予算について
- 議案第7号 令和4年度可児市可児御嵩インターチェンジ工業団地開発事業特別会計  
予算について
- 議案第8号 令和4年度可児市土田財産区特別会計予算について
- 議案第9号 令和4年度可児市北姫財産区特別会計予算について
- 議案第10号 令和4年度可児市平牧財産区特別会計予算について
- 議案第11号 令和4年度可児市二野財産区特別会計予算について
- 議案第12号 令和4年度可児市大森財産区特別会計予算について
- 議案第13号 令和4年度可児市水道事業会計予算について
- 議案第14号 令和4年度可児市下水道事業会計予算について
- 議案第15号 令和3年度可児市一般会計補正予算（第8号）について
- 議案第16号 令和3年度可児市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）につい  
て
- 議案第17号 令和3年度可児市可児駅東土地地区画整理事業特別会計補正予算（第2  
号）について
- 議案第18号 令和3年度可児市可児御嵩インターチェンジ工業団地開発事業特別会計  
補正予算（第2号）について
- 議案第19号 令和3年度可児市水道事業会計補正予算（第1号）について

### 5. 出席委員（18名）

委員長	伊藤 壽	副委員長	勝野 正規
委員	林 則夫	委員	亀谷 光
委員	富田 牧子	委員	伊藤 健二
委員	中村 悟	委員	山根 一男

委員 野呂和久  
委員 川合敏己  
委員 板津博之  
委員 大平伸二  
委員 松尾和樹

委員 天羽良明  
委員 澤野伸  
委員 渡辺仁美  
委員 中野喜一  
委員 奥村新五

6. 欠席委員 (1名)

委員 酒井正司

7. その他出席した者

議長 山田喜弘

監査委員 川上文浩

8. 説明のため出席した者の職氏名

文化スポーツ部長 三好誠司  
建設部長 安藤重則  
文化スポーツ課長 杉下隆紀  
地域振興課長 間瀬晃  
環境課長 各務則行  
都市計画課長 溝口英人  
都市整備課長 日比野聡  
管理用地課長 柴山正晴  
水道課長 佐橋猛

市民部長 日比野慎治  
水道部長 林宏次  
郷土歴史館長 水野幸永  
人づくり課長 若尾真理  
図書館長 牛江明美  
土木課長 西山浩幸  
施設住宅課長 今井亨紀  
上下水道料金課長 和田誠  
下水道課長 只腰篤樹

9. 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長 宮崎卓也

議会総務課長 下園芳明

議会事務局書記 土屋晃太郎

議会事務局書記 今枝明日香

○委員長（伊藤 壽君） それでは、皆さん、おはようございます。

初めに、酒井正司委員より欠席届が提出されておりますので、よろしくお願ひいたします。  
それでは、出席委員も定足数に達しておりますので、ただいまから予算決算委員会を開会いたします。

これより議事に入ります。

本日は、本委員会に付託されました予算議案のうち、建設部、文化スポーツ部、市民部及び水道部の順に令和 4 年度当初予算の内容について執行部から詳細な説明を受けます。

なお、本日の説明の中で事業等の内容確認のため補足説明を求めることは可といたしますので、質疑でなくここで確認するようにしてください。ただし、執行部が回答できない場合は、後から個別に聞いていただくか、質疑で提出していただくこととしますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、建設部所管分の説明を求めます。

御自身の所属を名のってから順に説明をしてください。

○都市計画課長（溝口英人君） それでは、建設部の予算の説明を行いたいと思います。

前段で重点事業を行った後、重点事業でないもの選ばれたものについて御説明をさせていただきます。

それでは、まず初めに、重点方針 3. 地域・経済の元気づくりの事業説明を行います。

重点事業説明シートの 66 ページを御覧ください。

かわまちづくり事業です。

予算科目は、款 8 土木費、項 4 都市計画費、目 1 都市計画総務費です。

この事業は、豊かな自然や歴史・文化の地域資源を活用し、にぎわいと潤いに満ちたかわまちづくり事業を推進することにより交流人口の増加を図ります。

令和 4 年度の予算は約 3,930 万円、前年度と比較しますと 550 万円ほど減です。これはハード整備に係る費用が下がっております。

主な事業は、かわまちづくり推進協議会の開催や地元活動の支援をしております。また、太田橋の下をくぐる遊歩道の詳細設計を行いまして、木曾川沿いに休憩所を整備していきます。また、都市再生整備計画に基づきまして、ハード的な施設を中心に遊歩道に関する整備を行ってまいります。

財源としましては、社会資本整備総合交付金を受けております。以上です。

○土木課長（西山浩幸君） 重点事業説明シート 67 ページを御覧ください。

市道 117 号線改良事業です。

予算科目は、款 8 項 2 目 3 道路新設改良費です。

この事業は、重点方針 4. まちの安全づくりを兼ねており、可児駅西側へのアクセス向上や狭隘部解消、通学路の安全確保を目指し、道路改良を行っております。

令和 4 年度予算は 1 億 1,422 万円で、前年度と比較し 2,040 万円の増となっております。

増額の理由は事業費の増で、最終年度として北側部分の用地買収と工事を実施し、県道御嵩犬山線との交差点の整備を予定しております。

特定財源としましては、国庫補助金と道路橋りょう債です。以上です。

○都市整備課長（日比野 聡君） 重点事業説明シート68ページをお願いします。

土田渡多目的広場整備事業です。

この事業は、木曽川の自然や歴史に親しむ交流の拠点として駐車場や休憩所を有し、子育て、イベント、スポーツなどの多目的な利用ができるとともに、一時的な避難場所としての機能を備えた公園として整備しています。

公園につきましては、令和4年度予算に計上している一部駐車場の拡張部分以外は今年度に完成見込みで、4月10日開園の予定で工事を進めております。

アクセス道路につきましては、家屋移転に伴う用地交渉が難航しておりましたが、年明けに地権者と接触することができ、事業の進捗状況や市の意向をお伝えすることができました。今後も早期交渉成立に向け努力してまいります。

令和4年度予算は9,852万5,000円、前年度と比較しますと1億1,933万1,000円の減となっています。理由としましては、公園整備が完了し、工事費が減ったことによるものです。

令和4年度は、多目的グラウンド東の駐車場拡張工事費として2,750万円、アクセス道路の用地取得・補償費として6,712万5,000円を計上しております。

財源としましては、道路橋りょう費国庫補助金1,620万円、都市計画債1,450万円がございました。

事業期間は令和5年度までを目標としており、繰り返しとなりますが、アクセス道路の早期完成に向けて取り組んでまいります。

都市整備課からは以上です。

○都市計画課長（溝口英人君） 続きまして、重点方針の4. まちの安全づくりの事業説明を行います。

重点事業説明シートは、84ページを御覧ください。

公共交通運営事業です。

この事業は、コミュニティバスの運行と民間路線バスの運行を補助することにより、高齢者などの交通弱者の移動支援を行うとともに、誰もが安心して移動できる公共交通網の構築を図ります。

令和4年度は約1億4,200万円、前年度と比較しますと200万円の増ですが、これは例年に比べてバス停の維持管理に係る経費を増加したものです。

主な事業は、コミュニティバスの運行補助金が約9,900万円、Y A Oバスの運行補助金が約1,200万円、東濃鉄道が運行する路線への補助金として帷子線700万円、緑ヶ丘線約98万円の支出を見込んでおります。

財源といたしましては、県からの市町村バス交通総合化対策費補助金約1,300万円、リニア中央新幹線用地取得等事務委託金が約830万円、その他雑入としてY A Oバス運行施設整

備費等負担金、バス車内広告収入の合計約75万円がございました。以上です。

○土木課長（西山浩幸君） 重点事業説明シート85ページを御覧ください。

交通安全環境整備事業です。

予算科目は、款2項1目8交通安全対策費です。

この事業は、地区要望に基づき、カーブミラーや通学路標識の新設及び修繕を実施するものです。カーブミラーの新設におきましては、防災安全課が現地を確認し、優先順位を判断して設置箇所を決定しています。

令和4年度予算は399万円で前年度と同額になっています。カーブミラーは10か所の新設、更新を予定しております。

続きまして、重点事業説明シート86ページを御覧ください。

市単土地改良事業です。

予算科目は、款6項1目4農地費です。

この事業は、農業用施設の比較的小規模な補修・改修工事を行い、施設の維持管理及び生産性の向上を図るものです。

令和4年度予算は2,148万5,000円で、前年度と比較し280万円の増となっております。増額の理由は、事業費の増によるものです。

主な事業としましては、石森地内の農道舗装、羽崎地内の用水路改修を実施する予定です。

特定財源としましては、県移譲事務交付金とその他の市単土地改良事業分担金、久々利地内ため池管理基金利子です。

続きまして、重点事業説明シート87ページを御覧ください。

土地改良施設維持管理適正化事業です。

予算科目は、款6項1目4農地費です。

この事業は、土地改良施設の整備補修のために事業費の一部を5年間積立てし、国・県の交付金を受け、計画的に施設の長寿命化を図るものです。

令和4年度予算は2,986万円で、前年度と比較し836万円の増となっています。増額の理由は、改修施設の規模が大きいことによる事業費の増によるものです。

主な事業としましては、渕之上地内可児川にあります日下部頭首工の整備補修と積立てに当たります負担金の支出です。

特定財源のその他は、土地改良施設維持適正化事業交付金です。

続きまして、重点事業説明シート88ページを御覧ください。

県単土地改良事業です。

予算科目は、款6項1目5県単土地改良事業費です。

この事業は、県の補助金を受けて実施する県単土地改良事業と、岐阜県が行う大規模な県営土地改良事業に対する負担金を支出するものです。

令和4年度予算は2,000万円で、前年度と比較し380万円の減となっています。減額の理由は、岐阜県の事業量の減によるものです。

主な事業としましては、市が実施する塩河地内の大明洞ため池の改修と、県が実施する久々利地内の上池、栃洞池、田の洞池の整備に係る負担金を支出する予定です。

特定財源は県補助金です。

続きまして、重点事業説明シート89ページを御覧ください。

道路維持事業です。

予算科目は、款8項2目2道路維持費です。

この事業は、市道の維持補修や管理を実施するものです。

令和4年度予算は2億5,537万5,000円で、前年度と比較し3,460万円の増となっております。増額の理由は、議会から提言いただきました生活道路の補修を行う道路維持修繕業務委託などの維持修繕費用の増によるものです。

主な事業としましては、幹線道路舗装修繕計画に基づき4路線の舗装修繕工事を実施するとともに、鳩吹台地内の舗装や側溝の修繕、区画線の復旧を行います。また、年間を通じた委託により、市民の皆様から通報や道路パトロールで見つかった異常を速やかに補修するなど、適正な維持管理を実施してまいります。

特定財源は、国庫補助金及び市道改良事業債などです。

続きまして、重点事業説明シート90ページを御覧ください。

道路改良事業です。

予算科目は、款8項2目3道路新設改良費です。

この事業は、地区要望を中心に道路整備を実施するものです。

令和4年度予算は3,345万円で、前年度と比較し100万円の減となっています。

主な事業としましては、若葉台地内と松伏地内の道路排水対策を予定しております。

続きまして、重点事業説明シート91ページを御覧ください。

交通安全施設整備事業です。

予算科目は、款8項2目4交通安全施設費です。

この事業は、子供たちが安心・安全に通学できるよう、地区要望等でいただきました危険箇所において、関係機関と合同点検を実施し、安全対策工事を実施するものです。

令和4年度予算は1億2,790万円で、前年度と比較し1億2,240万円の増となっています。増額の理由は、現在実施中の市道25号線乗里踏切歩道設置工事に係るJR東海への負担金と、千葉県に通学路での事故を受けて安全対策を強化することによるものです。

主な事業としましては、乗里踏切の歩道設置のほか、カラー舗装や広見、今渡地内で実施予定のゾーン30プラスによる道路狭窄や路面標示、キッズゾーンの表示などです。

特定財源は、国庫補助金及び道路橋りょう債です。

続きまして、重点事業説明シート92ページを御覧ください。

橋りょう長寿命化事業です。

予算科目は、款8項2目5橋りょう維持費です。

この事業は、橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、優先度、緊急度の高いものから計画的

に修繕を行い、橋梁の長寿命化を図るものです。

令和4年度予算は2,650万円で、前年度と比較し1,730万円の減となっています。減額の理由は、補修箇所の減によるものです。

主な事業としましては、橋梁の法定点検のほか、久々利酒井地内の1橋を補修する予定です。

特定財源は国庫補助金です。

続きまして、重点事業説明シート93ページを御覧ください。

河川改良事業です。

予算科目は、款8項3目2河川改良費です。

この事業は、近年頻発する集中豪雨に対して雨水を速やかに排水し、浸水被害を防除、軽減するために河川、水路の整備を実施するものです。

令和4年度予算は5,600万円で、前年度と比較し5,560万円の減となっています。減額の理由は、令和3年度で大森小松坂団地の排水整備と、今川、中郷川のしゅんせつを実施したことで、当面の事業費の大きな課題が解決したことによる事業量の減です。

主な事業としましては、室原川改修に伴う詳細設計を実施するほか、河川、排水路、調整池などにおいて、補修工事や支障木の伐採、除草など適正な維持管理を実施してまいります。

特定財源は、河川債と河川使用料です。

続きまして、重点事業説明シート94ページを御覧ください。

急傾斜地崩壊対策事業です。

予算科目は、款8項3目3砂防費です。

この事業は、集中豪雨等による急傾斜地の崩壊を防止し、市民の生命や財産を守るため、特に危険性の高い箇所の整備を実施するものです。

令和4年度予算は5,500万円で、前年度と比較し1,700万円の増となっています。増額の理由は、事業量の増によるものです。

主な事業としましては、今年度に引き続き古瀬地内前田南地区の急傾斜地崩壊対策工事の実施と、同じく古瀬地内で岐阜県が施工しております前田2地区の急傾斜地崩壊対策事業に対して負担金を支出する予定です。

特定財源は、岐阜県からの急傾斜地崩壊対策事業補助金及び急傾斜地崩壊対策事業債です。以上です。

**○施設住宅課長（今井亨紀君）** 重点事業説明シート95ページを御覧ください。

空き家等対策推進事業です。

予算科目は、款8土木費、項4都市計画費、目1都市計画総務費です。

この事業は、所有者等に対して空き家の適切な管理を促し、空き家の有効活用や除却により空き家の増加抑制を図ることで、市民が安心して暮らすことができる生活環境の確保を図るものです。

令和4年度予算は372万6,000円、前年度と比較しますと2万6,000円の増額です。ほぼ同

額の予算額です。

主な事業内容としては、令和3年度からの第2期可児市空き家等対策計画に基づく実施施策を遂行してまいります。

継続事業の主なものとして、空き家・空き地バンクの運営、空き家・空き地活用促進事業助成、空き家等実態調査等を実施してまいります。

4年間の対策計画の新たな実施施策において、引き続き令和3年度から検討し進めております西可児地区のモデル事業、相談窓口の制度等の検討や、令和4年に予定している空き家等の実態把握に関する空き家所有者等への意向調査、空き家等の利活用の促進に関する地域における福祉的な利用意向とのマッチングなどの検討を進めてまいります。

財源内訳としては、特定財源の県補助金81万6,000円と一般財源291万円です。以上です。

**○管理用地課長（柴山正晴君）** 非重点事業について説明させていただきます。

予算の概要の44ページ、一番下です。

駅周辺管理運営経費です。

令和3年度まで事業名を駐輪場管理運営経費としてきましたが、令和4年度より都市整備課の業務であります駅前広場施設管理委託業務を引き継ぐ予定となっておりますので、事業名が変更となっております。そのため、令和3年度予算166万9,000円であったところ、業務量増加により、令和4年度は521万3,000円増額の688万2,000円となっております。

内訳は、施設管理委託料として可児駅東西自由通路の管理業務、駅東駐輪場管理運営業務として440万円、その他として可児駅周辺の放置自転車等の対応業務、西可児駅、今渡駅、下切駅の駐輪場整理業務として138万円を計上しております。

特定財源の内訳としましては、総務管理手数料、総務費雑入です。以上です。

**○土木課長（西山浩幸君）** 予算の概要65ページを御覧ください。

一番下の可児川防災等ため池組合経費です。

予算科目は、款6項1目4農地費です。

この経費は、可児市、多治見市、御嵩町にある10か所の防災ため池などを2市1町共同で施設の維持管理及び防災・減災対策事業を行うための経費です。各市町の分担率に応じて可児川防災等ため池組合に分担金を支出するものです。

令和4年度予算は1,871万9,000円で、前年度と比較し470万1,000円の増となっております。増額の理由は、事業費の増によるものです。

主な事業としましては、10か所の防災ため池の維持管理に係る分担金のほか、県営ため池等整備事業による御嵩町にあります真名田ため池改修工事と、松野、小渕、前沢の詳細設計を予定しております。

特定財源は、可児川防災等ため池組合事務費負担金です。以上です。

**○管理用地課長（柴山正晴君）** 予算の概要の69ページ、一番下です。

用地総務一般経費です。

道路、水路の適正な管理、境界立会い、道路台帳整備のため4,003万円を計上し、主に業



務委託を行います。前年度に比べ1,500万円ほど増額となっております。

主な増額理由は、可児市統合型GISサーバの更新委託料と電線共同溝台帳整備委託料です。GISサーバの更新は、データを適切に管理・保管するために定期的に行う更新業務で920万円を計上しております。電線共同溝台帳整備は、可児駅前線の今年度供用開始しました区間の電線共同溝について台帳を整備するもので590万円を計上しております。

特定財源は、道路橋りょう費県委託金です。

続きまして、予算の概要の70ページ中段です。

道路管理経費です。

道路施設の適切な維持管理のため1億2,801万2,000円を計上しています。前年度に比べ2,200万円ほど増額としています。

主な増額理由の1つは道路照明灯LED化調査設計業務で、道路照明灯のLED化を図るため、既存の道路照明灯の調査を行い、改修計画を立てるため1,600万円を計上しております。工事は令和5年度から3年間で行う予定です。市内にある約1,250か所の道路照明灯をLED化にすることで、脱炭素化の推進に取り組んでいきます。

もう一つは、街路樹管理業務委託料として可児工業団地内の市道33号線、58号線の高木の伐採業務のため、昨年度より約700万円増額し、6,400万円を計上しております。

当路線の街路樹、主にケヤキでございますが、高さが10メートル以上、幹周が1メートル以上の巨木となっており、幅員1メートル程度の歩道に植栽されていますので、現在も歩行者の通行に影響が出ています。近年は台風が大型化しており、その影響で街路樹が倒れた場合、一般車両だけでなく工業部品等の物資の輸送にも支障が生じてしまうおそれがあります。一部は緊急輸送路にも指定されており、工業団地組合からも要望を受けておりますので、今後、当路線の高木を順次伐採していく予定です。

特定財源は、道路橋りょう使用料、道路橋りょう費県委託金、土木費雑入、道路橋りょう債です。以上です。

#### ○都市計画課長（溝口英人君） 次の款8項2目3、県道用地対策事業です。

この事業は、岐阜県の管理する道路の工事や委託について市負担金を支出するものです。

新年度は、国道248号下恵土・今地内において工事を予定しております。また、一般県道多治見八百津線の柿下地内において道路詳細設計を行う予定と聞いております。

前年度と比べて750万円ほど減額となっておりますが、これは県事業の事業費に対して決められた割合で支出しておりますので、岐阜県の事業量に応じて減少しております。

続きまして、予算の概要の72ページを御覧ください。

款8項4目1、都市計画総務一般経費です。

この経費は、都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、都市計画マスタープランで示す将来像を実現していくための経費でございます。

主な支出内容は、都市計画決定や計画策定などに必要な費用となっております。前年度より約300万円増加しておりますのは、都市計画マスタープランの変更業務を行うものです。

特定財源につきましては、屋外広告物許可手数料や用途地域証明手数料など約259万円、県から土地利用規制等対策費交付金約85万円、都市計画総括販売収入約3万円です。

続きまして、景観まちづくり推進事業です。

予算項目は一緒でございます。

この事業は、都市景観計画、景観条例に基づいて市民の景観まちづくり活動を支援するものであり、特に景観形成重点地区として指定している元久々利地区における景観まちづくり活動に対する助成を行っております。また、屋外広告物の許可申請事務を行い、適正な管理を行っております。

予算額が前年度比約90万円減額となりますのは、前年度に屋外広告物管理システムの更新を行ったことによります。

特定財源につきましては、屋外広告物許可手数料約300万円、屋外広告物に関する県移譲事務交付金約9万円となっており、事業費全て特定財源で賄っております。以上です。

○都市整備課長（日比野 聡君） 予算の概要73ページ、下から2つ目になります。

公園管理事業です。

市及び市と自治会が共同で管理する公園が市内に220か所あり、これらの公園の管理業務や修繕を実施する事業です。

令和4年度の主な内容としましては、ふれあいパーク緑の丘をはじめとした公園の各種管理業務の委託料として6,339万7,000円、芝生の管理や緑地の樹木の伐採等の委託料として6,250万円、総額1億7,677万4,000円を計上しております。

特定財源としましては、久々利中央公園あずまや復旧工事への県補助金、県産材需要拡大施設等整備事業補助金100万円と都市計画使用料の35万4,000円がございます。

前年度対比3,934万2,000円の増となっております主な理由としましては、別立ててありました公園整備事業を公園管理事業に編入したことと、今年4月開園予定の可児木曾川左岸公園に関する管理費を見込んだことによるものです。以上です。

○施設住宅課長（今井亨紀君） 予算の概要74ページを御覧ください。

款8土木費、項5住宅費、目1住宅管理費、市営住宅管理事業です。

令和4年度予算は2,745万7,000円、前年度と比較すると1,043万5,000円の増額です。

主な要因としては、計量法に基づく更新の年に当たり、一部市営住宅の水道用子メーターの更新工事の増額によるものです。

主な事業内容としては、市営住宅11団地285戸の住宅等使用料の徴収事務、入退去事務、施設維持管理等を行います。

主な支出は、主な説明欄のとおりでございます。

財源内訳としては、特定財源の住宅使用料2,745万7,000円です。以上です。

これで建設部の説明は以上です。

○委員長（伊藤 壽君） ありがとうございます。

それでは、補足説明を求める方は発言をお願いいたします。

○委員（伊藤健二君） 重点事業説明シート92ページのまちの安全づくりの中の橋梁ですが、下の指標の①と②を見ますと、法定点検と橋梁修繕工事の実施箇所数で、箇所数はずっと令和7年まで2つずつやっていくという一般方向は示してあるんですけど、この法定点検と令和4年の1か所、この関係はどういうふうなんでしょうか。最後の1か所が令和4年で来ておるといえることでしょうか。

○土木課長（西山浩幸君） 法定点検の結果、判定度3以上のものについて補修工事を実施するというふうにしておりまして、それは橋の規模等で何年にどこをやるという計画を立てております。その関係でたまたま令和4年度は1か所というようなことで、必要に迫られている施設がそこまで多くないというところで計画的にやっているというところだけです。深い意味はありませんけれども、令和4年度は1か所で、令和5年度は2か所というふうな計画をしております。

○委員（伊藤健二君） 法定点検、つまり国の基準で橋梁等の安全優先度、あるいは補修の必要度を一律基準で判定したわけですね。それで、今言った判定度3以上については優先度が高いということでずっと追っかけてきたけれども、大体令和4年の1か所プラスアルファぐらいでも、もう一通りの安全確保はできていくという見通しだという理解で構いませんか。

○土木課長（西山浩幸君） 法定点検も5年に1回というわけじゃなくて、分割しながら1回ずつやれるようにというふうでやっていますので、次から次と判定度が悪くなるものも出てくるということではありますけれども、緊急度の高いものが前回調査した中ではもうここまでというので、新しい点検をしたところから出てこれば、また続けてやっていくということになります。

○委員（伊藤健二君） 了解。

○委員長（伊藤 壽君） ほかに補足説明を求める方はございませんか。

[挙手する者なし]

それでは、ないようですので、令和4年度当初予算の建設部所管分の説明はこれで終わります。

執行部の皆様、お疲れさまでした。

ここで9時50分まで休憩といたします。

休憩 午前9時37分

---

再開 午前9時50分

○委員長（伊藤 壽君） それでは、始めたいと思いますが、林則夫委員より早退届が提出されておりますので、よろしくお願ひいたします。

休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

これより、令和4年度当初予算の文化スポーツ部、市民部所管分の説明を求めます。

それでは、御自身の所属を名のってから順に説明をしてください。

○人づくり課長（若尾真理君） 重点方針2. 子育て世代の安心づくりの事業説明を行います。

重点事業説明シートの45ページを御覧ください。

多文化共生事業です。

予算科目は、款2総務費、項1総務管理費、目1一般管理費です。

この事業は、外国籍市民の子育て及び就学等に関する支援や積極的な社会保障制度の活用が図られるよう、多文化共生センターを拠点とした多文化共生のまちづくりを推進します。

令和4年度予算は5,226万4,000円、前年度と比較すると463万3,000円の増です。新規の白星マークの多文化共生推進会議委員謝礼で15万7,000円とありますが、新たに（仮称）外国籍市民キーパーソン会議を設置し、外国籍市民との情報共有、発信の機会を増やし、積極的な交流を図ります。

また、令和4年度は外国籍市民意識調査業務委託料として220万円を計上しており、予算が増額しております。これは令和5年度に予定しています多文化共生推進計画の見直しのため、事前調査を実施するものです。

主な支出は、外国籍市民の相談や通訳を行う国際交流員4人の報酬等1,203万1,000円、多文化共生センターフレビアの指定管理料として市国際交流協会に1,920万円、定住外国人の子どもの就学促進事業の委託料として1,300万円などです。

財源としては、多文化共生センター使用料3万円、そして国庫補助金1,230万円で、その内訳は外国人の子どもの就学促進事業補助金430万円と、外国人受入環境整備交付金800万円です。また、総務費雑入500万円については、コミュニティ助成金200万円と、多文化共生のまちづくり促進事業助成金300万円を見込んでおります。

説明資料に掲載している写真は、多文化共生センターフレビアで実施している外国籍の子供たちへの就学支援の様子です。コロナ禍で多文化共生センターフレビアでの行事もこの2年間は縮小しており、来場者数は減少しておりますが、ポストコロナを見据えて、引き続き創意工夫しながら事業を展開してまいります。

次に、隣のページ、重点事業説明シートの46ページを御覧ください。

青少年育成事業です。

予算科目は、款10教育費、項5社会教育費、目7青少年育成費です。

この事業は、子供が地域の一員として社会性を身につけられるよう、青少年育成市民会議や地区青少年市民会議等と連携し、青少年育成シンポジウムや青少年の見守り活動等を通じて地域で健全育成に取り組む機運を高めます。

令和4年度の予算は891万9,000円、前年度と比較すると24万3,000円の増になります。

主な支出は、青少年指導相談員2人の報酬等396万7,000円と市青少年育成市民会議への活動補助金210万円です。

特定財源はありません。

説明資料に掲載している写真は、少年の主張可児市大会と青少年育成シンポジウムでの「わが家の宝物」作文・標語優秀作品表彰の様子です。

令和4年度はコロナ感染の状況を把握しながら、より効果的な行事が開催できるように検

討してまいります。以上です。

○文化スポーツ部長（三好誠司君） 重点方針3. 地域・経済の元気づくりの事業説明を行います。

重点事業説明シート55ページを御覧ください。

開発管理費・工業団地開発事業・発掘調査事業です。

文化財課では、発掘調査事業について説明をさせていただきます。

予算科目は、可児御嵩インターチェンジ工業団地開発事業特別会計の款1 開発費、項1 開発費、目1 開発事業費です。

この事業は、工業団地開発に伴う開発区域内の柿田西遺跡の発掘調査を行います。

主な支出は、会計年度任用職員報酬等で4,025万1,000円、測量業務等委託料で1,551万2,000円、発掘調査用具借上料で1,356万9,000円。前年度と比較すると、会計年度任用職員報酬等の減額の影響で630万7,000円の減です。

なお、給与費明細につきましては、資料番号2、予算書の219ページに掲載していますように、本年度と同様33人の雇用を予定しております。

主な事業内容としては、説明資料欄の地図を御覧ください。

第2工区に当たるA1、A2、A3及びB地点の発掘を行います。

財源としては、特定財源として工業団地開発事業債の5,310万円と一般財源の2,152万8,000円です。以上です。

○文化スポーツ課長（杉下隆紀君） 56ページを御覧ください。

運動公園整備事業です。所属は2課となっておりますが、文化スポーツ課で説明させていただきます。

予算科目は、款8 土木費、項4 都市計画費、目3 公園費です。

この事業は、可児市運動公園（坂戸）を防災拠点の公園として、また世代を超えて多くの人が集い、スポーツや健康づくりを目的とした新たな交流の場として利用できる公園とするために整備を行います。

令和4年度予算は5,300万円、前年度と比較すると1,820万円の増です。

主な理由は、防災拠点としての機能を加えること、旧県有地部分を含めた事業計画区域としたことなどによるものです。

主な事業内容としては、改修工事の実設計画を行います。

説明資料欄の計画平面図は、赤線で囲ってある部分が事業計画区域になります。なお、どのような公園になり、どのような防災拠点となるかについては、繰越明許費の補正をお願いしておりますように現在基本設計業務中であり、次の議会以降にお示しができるよう進めてまいります。

財源としては、一般財源です。

57ページを御覧ください。

市民スポーツ推進事業です。

予算科目は、款10教育費、項6保健体育費、目1保健体育総務費です。

この事業は、KYBスタジアムをはじめとする体育施設を活用し、誰もが広くスポーツになれ親しみ、健康づくりにつなげることができるよう、市民、企業、各種団体等と連携し、イベント等を開催します。

令和4年度予算は1,511万4,000円、前年度と比較すると437万6,000円の減です。

主な理由は、前年度に計上されていたねりんピック岐阜の経費が、令和4年度予算ではなくなったことなどによるものです。

主な事業内容としては、地区スポーツ振興費380万円、スポーツ教室等講師謝礼18万4,000円、全国大会等出場者激励金130万円、ゴルフのまち可児推進事業補助金900万円です。

写真左側は、市ゴルフ協会による高校生以下のジュニアゴルファーを対象としたゴルフラウンドレッスンの様子です。右側は中学生を対象としたボート体験教室の様子です。

財源としては、一般財源です。

58ページを御覧ください。

総合型地域スポーツクラブ推進事業です。

予算科目は、款10教育費、項6保健体育費、目1保健体育総務費です。

この事業は、市民主体の健康づくりである1市民1スポーツを推進するため、年齢や体力を問わず市民が気軽にスポーツを行うことを促す可児UNICの活動を支援いたします。

令和4年度予算は620万円、前年度と比較すると60万円の減です。

主な事業内容としては、活動補助金を交付いたします。

写真はいずれも可児UNICの活動で、左側は小学生を対象としたチアダンスの様子、右側はミニテニス講座受講生を対象とした交流大会の様子です。

財源としては、一般財源です。

59ページを御覧ください。

文化芸術振興事業です。

予算科目は、款10教育費、項5社会教育費、目3文化振興費です。

この事業は、文化創造センターを地域の文化拠点として、良質な文化・芸術を体験できる鑑賞事業と市民の文化・芸術活動の支援を行います。

令和4年度予算は4億4,385万6,000円、前年度と比較すると835万6,000円の減です。

主な理由は、障がい者芸術振興事業の開催方法を見直したこと、前年度に計上されていたコミュニティ助成金の経費が令和4年度予算ではなくなったことなどによるものです。

主な事業内容は、美術展等開催事業委託料500万円、文化創造センター指定管理料4億3,800万円、障がい者芸術振興事業負担金67万2,000円です。

写真左側は、市美術展での入選作品の展示の様子です。右側は、指定管理者主催のオーケストラコンサートの様子です。

財源としては、一般財源です。以上です。

○文化スポーツ部長（三好誠司君） 重点事業説明シートの60ページを御覧ください。

美濃金山城跡等整備事業です。

予算科目は、款10教育費、項5社会教育費、目6文化財保護費です。

この事業は、国史跡美濃金山城跡をはじめとする市内の城跡を活用していくために必要な整備を行います。

令和4年度予算は1,587万1,000円、前年度と比較すると1,197万3,000円の増です。

増となっている主な理由は、近年、全国的に石垣を保有する文化財で崩落等の被害が発生しています。毀損した石垣を元どおりに復旧するためには、石垣の詳細な図面、記録、いわゆる石垣カルテを作成する必要があるため、石垣の形状のデータ作成委託料1,000万円を計上したためです。

主な事業としては、先ほどの美濃金山城跡石垣調査等業務委託料1,000万円、美濃金山城跡樹木伐採業務委託料180万円、美濃金山城跡発掘調査業務委託料350万円です。

写真左側は美濃金山城伝米蔵跡です。右側は発掘調査の様子です。

財源としては、特定財源として国庫補助金の国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金650万円と一般財源の937万1,000円です。

重点事業説明シート61ページを御覧ください。

美濃桃山陶の聖地整備・保存事業です。

予算科目は、款10教育費、項5社会教育費、目6文化財保護費です。

この事業は、久々利大萱、牟田洞の地を美濃桃山陶の聖地として整備等を行うとともに、大萱古窯跡群の国史跡指定に向けての準備を進めます。

令和4年度予算の予算は、前年度と同額の37万8,000円です。

主な事業としては、委員謝礼、パンフレット印刷費、管理業務委託料です。

写真右側は、今年度実施したイベントの様子です。

財源としては、一般財源です。以上です。

○郷土歴史館長（水野幸永君） 重点事業説明シートの62ページを御覧ください。

郷土館管理運営経費です。

予算科目は、款10教育費、項5社会教育費、目5郷土館費です。

この事業は、市民が可児の歴史・文化に親しむ機会を創出し、ふるさとへの誇りと愛着を持っていただくため、可児郷土歴史館、川合考古資料館を拠点にした展示活動や学校関連機関との連携事業を行います。

令和4年度予算は1,474万5,000円、前年度と比較すると82万2,000円の増です。

主な事業内容としては、可児郷土歴史館での企画展の開催に係る経費及び関連施設の維持管理に係る経費です。今年度も引き続き、荒川豊蔵資料館と併せて市の魅力を発信できる事業を展開していきます。

説明資料の写真左は、南帷子小学校6年生児童が修学旅行の前に可児の仏像と奈良の仏像についてを学ぶ様子です。中央の写真は、今渡南小学校6年生児童が川合考古資料館で縄文時代の暮らしについて学ぶ様子です。

なお、財源のうち特定財源は、入館料と文化財報告書等頒布金です。

次に、重点事業説明シート63ページを御覧ください。

荒川豊蔵資料館運営事業です。

予算科目は、款10教育費、項5社会教育費、目5郷土館費です。

この事業は、美濃桃山陶の聖地の魅力を全国に発信するため、荒川豊蔵資料館での展示活動やイベントの開催などを行います。

令和4年度予算は1,655万8,000円、前年度と比較すると636万3,000円の減です。

前年度比636万3,000円減の主な要因は、前年度は第12回国際陶磁器フェスティバルの負担金として500万円を支出したこと、及び特別展を開催したことによります。今年度も令和6年開催予定のフェスティバル負担金として75万円を計上してありますが、本市の3年間の負担金総額は500万円です。

主な事業内容としては、荒川豊蔵資料館での企画展や、関連講座の開催に係る経費及び施設の維持管理に係る経費です。

説明資料の写真左は、昨年11月に開催しましたイベントにおいて、敷地内の見どころを案内するツアーの様子です。中央の写真は、企画展の開催中に行う学芸員による展示解説の様子です。右の写真は、帝京大学可児小学校4年生が来館して展示を鑑賞しながら美濃桃山陶などを学ぶ様子です。

なお、財源のうち特定財源は、入館料と講座受講料です。以上です。

#### ○地域振興課長（間瀬 晃君） 重点事業説明シート64ページを御覧ください。

支え愛地域づくり事業です。

予算科目は、款2総務費、項1総務管理費、目7企画費です。

この事業は、高齢者や子育て世代を支援するボランティアへの地域支え愛ポイントや地域通貨（Kマネー）を活用し、市民、事業者、行政が一体となった地域支え合いの仕組みづくり、地域経済の活性化に取り組むものです。

令和4年度予算は1億777万5,000円、前年度と比較すると573万5,000円の増です。

主な事業内容としては、地域通貨発行と販売による地域通貨負担金7,122万2,000円、地域通貨資金預託金3,100万円です。支え愛ポイント制度とKマネーの発行により、支え合いの仕組みづくりと市内の経済循環並びに活性化を目指します。

対象年度に目指す事業の成果につきましては、市民によるボランティア活動がより活発になるよう、地域支え愛ポイントに基づくKマネー交付額の目標達成を目指します。説明資料は、地域支え愛ポイントとKマネーの制度をフローチャートにしたものです。

財源としては、特定財源の地域通貨資金貸付金元金収入3,100万円は、Kマネー換金時の手持ち資金として金融機関へ預託したものの返金分、地域通貨発行販売収入7,122万2,000円、一般財源の555万3,000円です。

次の65ページを御覧ください。

集会施設整備事業です。



予算科目は、款2総務費、項1総務管理費、目11諸費です。

この事業は、地域コミュニティーや自治会活動の拠点となる自治会集会施設について、耐震事業やバリアフリー化等の改修工事を補助することにより環境改善を図るとともに、地域の絆づくりや防災、支え合いの活動の場として機能するよう支援するものです。

令和4年度予算は1,700万円、前年度と同額です。

主な事業内容としては、新築工事1件、外壁や屋根塗装、エアコン設置等の改修工事15件の合計16件で、各自治会への事前調査を行い、申請予定16件の全てに対して補助が可能です。

財源としては、一般財源の1,700万円です。以上です。

#### ○環境課長（各務則行君） 重点方針4. まちの安全づくりの事業説明を行います。

重点事業説明シートの76ページを御覧ください。

環境保全事業です。

予算科目は、款4衛生費、項1保健衛生費、目5環境対策費です。

この事業は、自然環境及び生物多様性の保全と公害防止対策の推進を図るものでございます。

令和4年度予算は1,318万8,000円で、前年度比99万円の増です。

主な事業内容は、環境保全総合調査や特定外来生物防除です。

説明資料の右側にごございますアルゼンチンアリは、新たな特定外来生物として今年度市内で生息が確認されました。この防除費用を計上したため前年度比で増となっております。

特定財源の国県支出金は、県移譲事務交付金、県補助金、県委託金で合計318万8,000円、その他は衛生費雑入の地下水調査協力金です。

77ページを御覧ください。

環境まちづくり推進事業です。

この事業は、市民主体の環境保全活動や環境の視点による持続可能なまちづくりを進めるものでございます。

令和4年度予算は403万4,000円で、前年度比232万8,000円の増です。

主な事業内容は、環境フェスタや環境楽習塾の実施でございます。

現在、改定を進めております地球温暖化対策実行計画に基づきまして、温室効果ガスの排出量を算定するため、温室効果ガス排出量算定システム作成業務委託料240万円を計上しております。このため、前年度比で増となっております。

特定財源は、環境学楽塾に対する県補助金でございます。

以上で重点事業の説明を終わります。

#### ○地域振興課長（間渕 晃君） 予算の概要43ページを御覧ください。

款2総務費、項1総務管理費、目7企画費、まちづくり支援事業です。

令和4年度予算は543万8,000円、前年度と比較すると194万7,000円の増です。

主な事業内容としては、春里自治連合会、兼山烏峰太鼓保存会へのコミュニティ助成の420万円です。

財源としては、特定財源のコミュニティ助成収入420万円、一般財源の123万8,000円です。以上です。

○人づくり課長（若尾真理君） 予算の概要の44ページ、2項目めを御覧ください。

款2総務費、項1総務管理費、目7企画費、男女共同参画社会推進事業です。

令和4年度予算は259万1,000円、前年度と比較すると178万9,000円の増額になります。

主な事業内容は、男女共同参画社会を目指して可児市男女共同参画プランの推進を図ります。意識啓発のための講座や男女共同参画サロンでの相談事業などを行います。特に令和4年度は国の補助金、地域女性活躍推進交付金22万円を活用し、コロナ禍で職を失った女性を対象にデジタル人材育成講座を計画しており、委託料として44万円を計上しております。

また、令和5年度のプラン見直しのため男女共同参画意識調査を計画しており、委託料として67万円を計上しております。以上です。

○地域振興課長（間瀬 晃君） 予算の概要45ページを御覧ください。

款2総務費、項1総務管理費、目10地区センター費、地区センター改修経費です。

令和4年度予算は1億7,080万円、前年度と比較すると2,580万円の増です。

主な事業内容としては、桜ヶ丘と平牧地区センターの屋根・外壁改修工事に、それぞれ4,260万円と4,840万円です。また、今渡と帷子地区センターのセンター内照明器具取替LED化工事に、それぞれ2,410万円と2,970万円です。

財源としては、特定財源の地区センター改修事業債と地区センター照明LED化事業債で、それぞれ9,050万円と4,810万円、一般財源の3,220万円です。以上です。

○環境課長（各務則行君） 予算の概要63ページを御覧ください。

款4衛生費、項2清掃費、目1じん芥処理費、リサイクル推進事業です。

令和4年度予算は1億1,931万5,000円で、前年度比163万2,000円の増でございます。

主な事業内容は、家庭から排出される資源物の収集やエコドームの運営、各種補助金の交付等によるリサイクルの推進です。

先日の全員協議会で御説明させていただいたペットボトルの「ボトル to ボトル」リサイクル事業につきましては、御理解を賜りまして誠にありがとうございました。この事業におきまして、協定の相手方が指定するリサイクル業者に収集したペットボトルを渡すためのプレス加工や、運搬等に要する費用として再資源化処理等委託料215万円を計上しております。このため、前年度比で増となっております。

特定財源は衛生費雑入の453万9,000円で、資源物売却代金が主なものでございます。以上でございます。

○文化スポーツ課長（杉下隆紀君） 82ページを御覧ください。

款10教育費、項5社会教育費、目3文化振興費、文化創造センター維持経費です。

令和4年度予算は936万6,000円、前年度と比較すると372万9,000円の増です。

主な理由は、大規模改修が終了したことに伴い、日常管理で必要な修繕料が増額したこと、電話交換機を更新することによる借り上げ料が増額したことなどによるものです。

主な事業内容としては、施設設備等修繕料350万円、電話交換機借上料191万4,000円、電算機借上料292万6,000円です。

特定財源の204万1,000円は、文化創造センターのレストランや自動販売機の目的外使用料などです。以上です。

○図書館長（牛江明美君） 目4図書館費、図書館施設管理経費です。

本館、分館の施設改修や工事、施設管理業務委託、駐車場の借り上げ料などの経費です。

令和4年度の予算は1,348万6,000円、前年度と比較すると591万3,000円の増です。増額の理由として、帷子分館の外壁改修工事です。

次に、2つ下の図書館システム管理経費です。

利用者の登録や図書のデータ管理、貸出し、返却業務などを効率的に行うための電算システムの使用に係る経費です。

令和4年度の予算は787万5,000円、前年度と比較すると132万6,000円の増です。

増額の理由として、図書館システムの使用期間を1年延長したことにより、安くなっていた今年度の電算システム使用料を新たに契約したことから、従来 of 金額になったためです。以上です。

○郷土歴史館長（水野幸永君） 予算の概要83ページの中段を御覧ください。

戦国山城ミュージアム管理経費です。

予算科目は、款10教育費、項5社会教育費、目5郷土館費です。

令和4年度予算は456万1,000円、前年度と比較すると165万6,000円の減です。

前年度比165万6,000円減の主な理由は、前年度は施設の修繕費用及び監視システムの改修費が計上してあったことによります。

主な事業内容としては、市内の城跡に関する資料の展示に係る経費や施設の施設管理委託料320万9,000円です。

なお、財源のうち特定財源は、入館料と各種冊子頒布金です。以上です。

○文化スポーツ課長（杉下隆紀君） 85ページを御覧ください。

款10教育費、項6保健体育費、目1保健体育総務費、体育振興一般経費です。

令和4年度予算は78万5,000円、前年度と比較すると178万8,000円の減です。

主な理由は、前年度に計上されていた会計年度任用職員の経費が令和4年度予算ではなくなったことによるものです。

主な事業内容としては、体育振興事務用品費27万円、電話交換機借上料16万8,000円、県B&G連絡協議会負担金12万円、職員研修等負担金6万7,000円です。

以上で文化スポーツ部、市民部の予算の説明を終わります。

○委員長（伊藤 壽君） ありがとうございます。

それでは、補足説明を求める方は発言をお願いいたします。

○委員（富田牧子君） 多文化共生のところでキーパーソン会議を行うというふうなことがありましたが、どういう人たちを集めてどんなふうな感じでやるのでしょうか。

○人づくり課長（若尾真理君） 今年のコロナ禍の外国籍の方の対応については、人づくり課でいろいろ模索をしながらPR等が続けてきましたが、外国籍の皆さんの行動形態とか情報収集の方法とか、その辺りをいろいろ見聞きしながら進めてきました。

ただ、やはり体系的にそういうところをちゃんと把握する必要があるというふうに考えまして、特に可児市内の外国籍の方、フィリピンの方、その次にブラジルの方、今ベトナムの方、その次に中国という感じで構成が分かっておりますので、その辺りの方たちにお声がけをさせていただいて、あまりたくさんの方だと意見がなかなか集約できないので、七、八人を想定しておりますが、呼びかけて集めて、定期的にそういう課題を皆さんに提示しながら意見収集をして、多文化共生の社会づくりに寄与できるような情報収集と、外国人の方たちの理解を進めるための会議というのを考えて設置したいと考えております。

2月に広報で委員の方の募集をしております、今日が締切りなんですけれども、何人かのお申込みがありましたので、その方たちを中心に行政と直接外国籍の方と意見を酌み交わして事業の参考にしていきたいというふうに考えております。以上です。

○委員長（伊藤 壽君） ほかによろしいですか。

○委員（富田牧子君） 重点事業説明シートNo57のところの文化財課の話なんですけど、今年度は4か所を掘るということなんですけど、予測として何時代の何が出てくるんでしょうか。

○文化スポーツ部長（三好誠司君） ちょっと詳細までは分からないところがあるんですけど、今発掘しているところでは、古墳時代のものが出てきているというふうに聞いております。出てきているものとしては、金属的なものはなくて、木片と、あと陶器の類いのものが出てきているというふうに聞いております。以上です。

○委員長（伊藤 壽君） ほかに補足説明を求める方はございませんか。

○副委員長（勝野正規君） 重点事業説明シートの62ページの郷土館管理運営経費の主な説明のところ、市内陶芸家の作品購入、これはただ単に展示品を毎年買っていただけなのか、何かもう少し詳しい説明をお願いしたいです。

○郷土歴史館長（水野幸永君） 昨年から市内の陶芸家の作品を3品ほど購入しております。今年度はコロナウイルスの関係がありまして事業ができておりませんでした、美濃桃山陶のPRということで、講座等で使用するということを目的に3品の購入を予定しております。以上です。

○委員長（伊藤 壽君） ほかに。

○委員（富田牧子君） 同じ資料の64ページのところのKマナーの話のところなんですけど、これを使ったときに協力店が商品とかサービスの特典を行うという話がありましたけど、それについては、コロナ禍の中でちょっと困難じゃないかというお話があったように思うんですけど、今いろいろ値上がりしている大変なときに、従来どおりこの図のように協力店にこういうことを要請されるんでしょうか。

○地域振興課長（間渕 晃君） まだ当面の間ですけれども、ちょっとまだいつ開始するというのは考えてないんですけど、しばらくの間は協力金の負担は停止します。ただ、ちょっと

いつ復帰というのは、まだ全然現在のところは考えておりません。

- 委員長（伊藤 壽君） ほかによろしいですか。
- 委員（天羽良明君） 予算の概要の43ページ、まちづくり支援事業のコミュニティ助成金420万円を4つほど言われましたけど、もう一度お願いします。
- 地域振興課長（間瀬 晃君） 2点ありまして、1つが春里自治連合会の分と兼山烏峰太鼓保存会への2点です。
- 委員（天羽良明君） 太鼓はどんなことを。
- 地域振興課長（間瀬 晃君） 太鼓は、太鼓交流と太鼓の皮の張り替えです。以上です。
- 委員長（伊藤 壽君） ほかに補足説明を求める方。
- 委員（板津博之君） 重点事業説明シート56ページの運動公園整備事業ですけれども、改修工事実施設計業務委託料5,300万円ということで、これは防災安全課のほうから、この前、災害対策経費の中で防災倉庫の整備工事費及び土地購入費というもので説明があったんですけど、何が言いたいかという、この運動公園の改修工事実施設計には、そちらの防災拠点の設置及び災害時相互支援体制構築事業概要とのリンクというか連携があって、そちらも加味した計画になるのか、それはまた別物で、いわゆる防災のほうとの絡みですけれども、その辺、ちょっと説明を分かれば教えていただきたいんですけども。
- 文化スポーツ課長（杉下隆紀君） 現在、防災安全課と基本設計を今しているんですけども、そこですり合わせをして、実施設計の中にも含めていくような段取りで準備をしております。
- 委員（板津博之君） 予算上では、実施設計は文化スポーツ部のほうでやられて、計画としては、その内容には防災安全課のほうの部分も実施設計の中に入ってくるという考え方でよかったですね、確認です。
- 文化スポーツ課長（杉下隆紀君） はい、そのとおりでございます。
- 委員（板津博之君） ありがとうございます。
- 委員長（伊藤 壽君） ほかによろしいですか。
- 委員（富田牧子君） この重点事業説明シートの77ページのところなんですけど、温室効果ガスの排出量算定システムの作成業務委託料というのがありましたけれど、温室効果ガスの排出量算定システム作成業務はどういうところに委託をされるのか。今までこういうことは委託していたのか、どうなんですか、教えてください。
- 環境課長（各務則行君） 今まで委託がございまして、これから入札等もございまして、どこの業者にとすることは当然分かりませんが、専門の業者に委託する予定でおります。

今現在のものは、平成22年に計画のほうをつくっております、このときはコンサルタントも入れながら策定をしておりますけれども、そのときの資料を基に算定のほうをいたしましたけれども、当然10年上たっておりますので古くなってきておりますので、改定を機会に新たなシステムとして入れるものでございます。以上でございます。

○委員長（伊藤 壽君） ほかによろしいですか。

ほかに補足説明を求める方はございませんか。

〔挙手する者なし〕

そうしたら、重点事業以外の事業で地域振興課の2事業、まちづくり支援事業と地区センター改修経費、それから人づくり課の男女共同参画社会推進事業について、増減のところの理由の説明がなかったと思いますので、その説明をお願いしたいと思います。

まずまちづくり支援事業、地域振興課、お願いします。

○地域振興課長（間瀬 晃君） これは、コミュニティ助成が例年と比べて1件増になったものです。

○人づくり課長（若尾真理君） 説明にも若干入れておりましたが、女性を対象にデジタル人材育成講座を計画しております、これが44万円。あと令和5年度のプランの見直しのためのアンケート調査を計画しております、その委託料が67万円ほどになります。これに伴う増額というふうになっております。

○委員長（伊藤 壽君） それでは、地区センター改修経費、地域振興課長、お願いします。

○地域振興課長（間瀬 晃君） 今年度からのLED化工事によるものです。以上です。

○委員長（伊藤 壽君） ありがとうございます。

ほかに補足説明を求める方はございませんか。

〔挙手する者なし〕

それでは、ないようですので、文化スポーツ部、市民部所管の説明はこれで終わります。執行部の皆さん、お疲れさまでした。

ここで10時55分まで休憩といたします。

休憩 午前10時37分

---

再開 午前10時53分

○委員長（伊藤 壽君） それでは、休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

これより、令和4年度当初予算の水道部所管分の説明を求めます。

御自身の所属を名のってから順に説明をしてください。

○水道課長（佐橋 猛君） 重点方針4. まちの安全づくりの事業説明を行います。重点事業説明シート96ページを御覧ください。

水道事業会計における建設改良事業費です。

予算科目は、資本的支出の款1資本的支出、項1建設改良費、目2建設改良事業費です。

この事業は、平常時はもとより、災害時にも安心・安全な水道水を供給することを目的として、配水池や水道管などの耐震化や施設更新などを実施するものでございます。

令和4年度の予算は7億6,195万7,000円で、前年度と比較すると1億5,866万9,000円の減額です。これは、水道整備基本計画による事業量の減少が主な要因でございます。

その下、主な事業内容としては、表の中ほどにあります可児御嵩インターチェンジ工業団

地開発に伴う配水管布設工のほか、老朽管の更新といたしまして、前年度に引き続き桜ヶ丘地内老朽管更新工事を、路面復旧といたしまして、桜ヶ丘地内等路面復旧工事などを予定しております。

また、配水ブロック統廃合整備事業としまして、第2低区系基幹管路布設替工事を、それから基幹管路耐震化事業としまして、中区系基幹管路布設替工事を、水道施設の老朽化更新工事といたしまして、長洞ポンプ場機械電気設備更新工事などを予定しております。

その下の説明資料でございますが、可児御嵩インターチェンジ工業団地開発に伴う配水管布設工事の位置図です。

令和4年度は、図の左側の工区外エリアと第1工区を工事する予定としております。

財源としましては、県の補助金と消火栓や工業団地開発に対する市からの負担金でございます。以上です。

**○下水道課長（只腰篤樹君）** 重点事業説明シート97ページ、下水道事業会計における雨水対策事業になります。

この重点事業に該当する予算事業は、予算の概要の117ページ、款1資本的支出、項1建設改良費、目3雨水建設事業費及び目6の固定資産購入費となります。併せて御覧ください。

この事業は、近年多発しておりますゲリラ的な集中豪雨による浸水被害から市民の生命、財産を守るため、雨水排水計画に基づき主に雨水幹線整備を実施するもので、建設部土木課が所管をしています。

令和4年度は重点事業説明シートの地図の箇所、下恵土地内で、現在土木課が進めております市道117号線道路改良工事に合わせ、沓井雨水幹線の整備を予定しています。

指標として雨水の整備率を掲げており、令和4年度末で84.6%達成を目指しています。

では、予算の概要書のほうを御覧ください。

令和4年度は、事業費として雨水建設事業費は8,049万円ほどを、固定資産購入費は60万円を計上しています。前年度対比で7,000万円ほどの増額となっております要因は、令和3年度の当該事業では、主に設計委託を実施しており、雨水幹線整備工事を予定していなかったなど事業量の変動によるものです。

また、固定資産購入費で土田樋管のポンプ施設設置場所の用地を取得予定でございます。特定財源は、企業債及び国庫補助金です。

続きまして、重点事業説明シートは次のページ、下水道事業の経営強化事業となります。

この重点事業に該当する予算事業は、予算の概要、同じく117ページ、目1の公共建設事業費です。併せて御覧ください。

令和3年度より開始いたしました下水道ストックマネジメント計画で、長期的な視点で下水道施設全体の今後の老朽管の進行状況を考慮し、リスク評価等による優先順位づけを行い、修繕、改築工事を行います。

令和4年度は、施工位置図に示しております広見区画整理地内を中心に、状態が悪い污水管の管渠更生工事を予定しております。管渠更生工事とは、道路を掘り返すことなく管渠の

内面から補修を行う工事で、それにより開削による布設替えに比べ、交通規制期間を短くするなど、地域への負担を最小限にとどめることが可能となります。

指標はストックマネジメント計画に基づき設定をしており、令和4年度末で30%の達成を目指しています。

それでは、予算の概要のほうを御覧ください。

公共建設事業費では、そのほかに久々利汚水幹線や開発などに伴う管路布設工事、前年度下水道整備箇所の舗装の本復旧工事などを行うため、2億1,300万円ほどを計上しております。

前年度対比で1億円ほどの減額となっております主な要因は、前年度には団地の自家用発電機の更新があったことや、汚水幹線やストックマネジメント年次計画に伴う事業量の変動によるものです。

特定財源は、企業債及び国庫補助金です。

重点事業の説明は以上となります。

○委員長（伊藤 壽君） それでは、重点事業以外の事業の説明をお願いします。

○上下水道料金課長（和田 誠君） 重点事業以外の非重点事業の一般会計分になります。

資料番号3の予算の概要の63ページの一番下をお願いします。

款4衛生費、項3上水道費、目1上水道費の上水道事業負担金です。

令和4年度予算は1,122万2,000円、前年度と比較すると755万7,000円の減となります。

主な要因は、旧簡易水道事業の企業債の償還の終了によるものです。

事業の内訳は、上水道債の償還負担金が594万6,000円、上水道事業事務費負担金として527万6,000円となっております。

一般会計予算については以上でございます。

○委員長（伊藤 壽君） それでは、特別会計をお願いします。

○上下水道料金課長（和田 誠君） 引き続きまして、議案第5号 令和4年度自家用工業用水道事業特別会計予算の説明をさせていただきます。

この特別会計は、愛知用水から取水しまして大王製紙とKYBに工業用水を供給して工場用水の使用料を得る事業を経理する特別会計となっております。

資料番号2の予算書の195ページと、資料番号3の予算の概要の103ページをお願いいたします。

まず予算書の195ページのほうですが、自家用工業用水道事業特別会計としまして、第1条で歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ1億6,200万円としております。

明細は、同じく予算書の197ページをお願いします。

歳入は、水道使用料の1億5,930万円及び繰越金の270万円です。水道使用料は節水分を考慮して80万円の減額としております。

歳出につきましては、資料番号の3、予算の概要の103ページをお願いいたします。

水道管理費は、主に公課費、消費税のことです。愛知用水施設維持管理費負担金、一般会



計への繰出金等で1億6,030万1,000円です。

特定財源としましては、水道使用料を充てております。予備費を169万9,000円としております。

自家用工業用水道事業特別会計については、以上でございます。

続きまして、議案第6号 令和4年度可児市農業集落排水事業特別会計予算の説明をさせていただきます。

予算書の201ページと予算の概要の104ページをお願いいたします。

まず予算書の201ページのほうですが、農業集落排水事業特別会計は、第1条で歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億5,600万円としております。明細につきましては、同じく予算書の203ページをお願いします。

歳入の主なものは、款2 使用料及び手数料の3,758万7,000円と款3 繰入金の1億1,481万3,000円などです。全体では前年度比で600万円の減となっております。

予算書の210ページをお願いいたします。

地方債の償還状況ですが、令和4年度末で6,114万5,000円の現在高を見込んでおります。以上でございます。

○下水道課長（只腰篤樹君） 続きまして、歳出について御説明させていただきます。

予算概要の104ページを御覧ください。

農業集落排水事業は、農業集落地域におけるし尿や生活雑排水などの汚水を処理する施設を整備し、農業用水の水質汚濁を防止するとともに、農村地域の基礎的な生活環境の向上を図るもので、塩河地区、長洞地区の2地区で実施をしております。

まず、項1 農業集落排水事業管理費について御説明いたします。

塩河地区の横市川浄化センター、長洞地区の矢戸川浄化センターの維持管理のほか、区域内の管渠、マンホールポンプなどの維持管理や修繕を行う費用で8,570万円ほどを計上しております。

前年度比180万円ほど増額となっております主な要因は、矢戸川浄化センターの周囲に目隠し用に植樹をした生け垣やビオトープの樹木が経年により成長し、通行など周辺に支障を来していることから、場内の剪定伐採を予定しているためです。

特定財源は、下水道使用料です。

次に、項2 農業集落排水事業施設費について御説明いたします。

これは、区域内の下水道施設や公共ます設置に要する費用で350万円を計上しています。

前年度対比で120万円の増額となっている要因は、区域内の老朽化しているマンホールポンプの蓋の取替えを予定しているためです。

特定財源は、農業集落排水事業分担金でございます。以上です。

○上下水道料金課長（和田 誠君） 続きまして、予算の概要の105ページをお願いいたします。

款2 公債費、項1 公債費、目1 元金です。

塩河、長洞2地区を合わせましたものが5,676万5,000円です。前年度と比較すると688万9,000円の減です。

目2利子ですが、こちらも同じ2地区を合わせまして399万7,000円で、前年度と比較すると257万1,000円の減となっております。これらは起債の償還が終わったものがあるために減額となっております。

農業集落排水事業特別会計については以上です。

続きまして、議案第13号 令和4年度可児市水道事業会計予算について説明させていただきます。

資料番号2の予算書の261ページと、資料番号3の予算の概要の112ページをお願いいたします。

まず、資料番号2の予算書の261ページから説明させていただきます。

第2条、業務の予定量ですが、(1)給水件数は3万6,195件、(2)の年間総給水量が前年度より68万5,000立方メートル増となりまして1,221万立方メートル、(3)の1日平均給水量は3万3,452立方メートルを見込んでおります。

次に、(4)の主要な建設改良事業としましては、基幹管路耐震化事業に4,777万円、配水ブロック統廃合整備事業に7,725万5,000円を計上しております。

主な内容につきましては、先ほど重点事業説明シートで水道課より説明させていただいております。

次に、第3条の収益的収支と、次のページの第4条、資本的収支につきましては、予算書265ページからの実施計画で説明いたします。

265ページをお願いいたします。

まず第3条の収益的収入についてです。

項1営業収益ですが、給水収益の21億8,600万円と、その他の営業収益8,734万6,000円を合わせた22億7,334万6,000円となっております。

次に、項2営業外収益は、目3長期前受金戻入3億7,871万8,000円と、目4資本費繰入収益445万9,000円、これは簡易水道事業債の元金分の償還負担金となりますが、これらを含む3億8,841万9,000円を見込んでおります。

項3特別利益では、加入分担金を前年度比200万2,000円減額しまして、9,723万5,000円を計上しております。これらを合わせまして、水道事業収益は前年度比で5,100万円の増額、27億5,900万円となりました。

次に266ページ、収益的支出の水道事業費は、項1営業費用、目1浄水費の12億3,800万円、全体の51.1%を占めております。

あと目6減価償却費の7億1,144万円、全体の29.4%を占めておりますが、これらを合わせまして、合計24億2,100万円を計上しました。前年度比で7,600万円の増となりました。

支出につきましては、後ほど予算の概要で説明させていただきます。

続きまして、267ページをお願いいたします。

第4条の資本的収入についてです。

まず款1資本的収入ですが、工事負担金、他会計負担金及び県補助金を合わせまして2億7,200万円、前年度比で2億2,800万円の増となりました。

主な要因は、重点事業説明シートでも触れましたが、可児御嵩インターチェンジ工業団地開発に伴う配水管布設工事の工事負担金を2億3,100万円いただきまして、工事負担金は前年度比で2億3,323万円増額、一方で、県補助金が前年度比で673万円減額となることによります。

次に、資本的支出は前年度比で1億6,400万円減額の8億5,600万円となります。

主な要因は、重点事業説明シートでも触れましたが、項1建設改良費、目2建設改良事業費が1億5,866万9,000円減額となることによります。

以上の収支から262ページに戻っていただきまして、第4条にありますように資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額5億8,400万円につきましては、当年度分の消費税及び地方消費税資本的収支調整額と過年度分損益勘定留保資金で補填するものとします。

次に、第5条の一時借入金と、第6条の予定支出の各項の経費の金額の流用、第8条のたな卸資産購入限度額は前年度と同じとしています。

第7条の議会の議決を経なければ流用することのできない経費につきましては、職員給与費の1億849万8,000円を計上しております。

詳細につきましては、270ページにあります給与費明細に記載させていただいております。経営審議会委員の12人、職員14人分を反映させた額となっております。

続きまして、268ページのキャッシュ・フロー計算書をお願いいたします。

キャッシュ・フロー計算書につきましては、1の業務活動、2の投資活動、3の財務活動の3つに区分しております。おのおの資金の流れを表しております。

令和4年度末残高を26億1,143万8,000円と見込んでおります。

続きまして、水道事業の支出について、資料番号3、予算の概要で説明いたします。

予算の概要の112ページをお願いいたします。

○水道課長（佐橋 猛君） 款1水道事業費、項1営業費用、目1浄水費です。

これは、県から水を購入する受水費でございます。

令和4年度予算は12億3,800万円、前年度と比較すると4,170万円の増額です。引き続きコロナ禍ではございますが、民間企業も回復基調にありますので、水需要は増加の傾向であるため増額となっております。

それでは、その次でございます。そのページの一番下ですね。

目5総係費、これは水道事業活動全般に係る経費でございます。

令和4年度予算は5,177万3,000円、前年度と比較すると1,306万7,000円の増額でございます。

この要因は、水道整備基本計画の見直しを来年度行うことによるものでございます。

特定財源は、その他営業収益の他会計負担金を充当しております。

○上下水道料金課長（和田 誠君） 続きまして、予算の概要のほうの113ページをお願いいたします。

目7 資産減耗費です。

令和4年度予算は3,040万円で、前年度と比較すると1,000万円の増です。

主な要因は、大森ポンプ場の機械電気設備更新工事に伴う資産の除却によるものです。

次に、項2 営業外費用、目1 支払利息です。

令和4年度予算は230万6,000円で、前年度と比較すると137万2,000円の減額です。主な要因は、旧簡易水道事業の企業債の償還終了によるものです。

特定財源の148万7,000円は、旧簡易水道事業債の利息分を一般会計から繰り入れております。

以上のことから、収益的支出につきましては、112ページの最上段になりますけれども、合計で24億2,100万円となり、前年度と比較すると7,600万円の増額となります。以上です。

○水道課長（佐橋 猛君） 続きまして、114ページを御覧ください。

資本的支出について説明させていただきます。

初めの款1 資本的支出、項1 建設改良費、目2 建設改良事業費につきましては、重点事業で既に説明させていただいてございます。

それでは、次に、目3 営業設備費でございます。

これは、新規契約分の量水器や車両運搬具更新などの費用でございます。

令和4年度予算は630万7,000円、前年度と比較すると466万6,000円の増額です。

この主な要因は、災害時に必要となる給水タンクや応急給水栓、自家用発電機の老朽化による買換えを行うためでございます。

○上下水道料金課長（和田 誠君） 同じページの下になりますが、項2 償還金、目1 企業債償還金です。

令和4年度予算は2,918万5,000円で、前年度と比較すると606万6,000円の減です。

主な要因は、旧簡易水道事業債の償還終了によるものです。

特定財源の445万9,000円は、旧簡易水道事業債の元金分を一般会計から繰り入れております。

以上のことから、水道事業会計の資本的支出は、このページの一番最上段ですけど、8億5,600万円で、前年度比で1億6,400万円の減となっております。

これで水道事業会計の説明を終わらせていただきます。

続きまして、議案第14号 令和4年度可児市下水道事業会計予算の説明をさせていただきます。

資料番号の2、予算書の293ページと、資料番号の3、予算の概要の115ページをお願いいたします。

最初に、予算書の293ページをお願いします。

まず第2条の業務の予定量ですが、(1)整備区域内人口は9万5,800人、(2)の年間排水量

は1,070万8,370立方メートル、(3)の1日平均排水量は2万9,338立方メートルを見込んでおります。

次に、(4)主要な建設改良事業といたしましては、管渠更生工事に7,000万円、雨水幹線整備工事に7,000万円を予定しております。

主な内容につきましては、先ほど重点事業説明シートのほうで下水道課より説明させていただいております。

次に、第3条の収益的収支と第4条の資本的収支につきましては、297ページからの実施計画で説明いたします。

297ページをお願いいたします。

まず第3条の収益的収入の項1営業収益ですが、目1下水道使用料は15億3,038万1,000円、目2雨水処理負担金、これは一般会計からの負担金5,483万3,000円などを合わせまして、15億8,734万4,000円となりました。

次に、項2営業外収益、目1負担金は、一般会計からの負担金8億8,699万1,000円、これは総務省が示します繰り出し基準に基づいて一般会計から繰り入れるものです。

次に、目2長期前受金戻入は、資産の取得時の補助金や工事負担金等を減価償却に併せまして耐用年数の期間で収益化するものです。こちらのほう5億1,065万4,000円を計上しております。これらを合わせまして、下水道事業収益は29億8,500万円となります。

次に、298ページをお願いいたします。

支出の下水道事業費用は25億4,900万円となります。

内容につきましては、後ほど予算の概要で説明させていただきます。

続きまして、300ページをお願いいたします。

第4条の資本的収入及び支出についてです。

資本的収入につきましては、8億8,600万円を見込んでおります。

主なものは、項1企業債2億9,550万円、項2出資金の4億8,127万1,000円ですが、こちらも総務省の繰り出し基準に基づく一般会計からの出資金、その他としまして補助金や受益者負担金等です。

次に、301ページをお願いいたします。

支出の資本的支出につきましては、21億1,400万円を計上しております。

内容につきましては、後ほど予算の概要で説明させていただきます。

以上の収支から294ページに戻っていただきまして、第4条の資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額12億2,800万円につきましては、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金、繰越利益剰余金処分額並びに当年度利益剰余金処分額で補填いたします。

続きまして、295ページ、第5条、企業債です。限度額を2億9,550万円と定めております。

次に、第6条、一時借入金の限度額、第7条、予定支出の各項の経費の金額の流用につきましては、前年度と同じにしております。

続きまして、296ページ、第8条、議会の議決を経なければ流用することができない経費につきましては、職員給与費の1億563万1,000円としております。詳細につきましては、304ページにあります給与費明細に記載しておりますが、職員15人分を反映させた額となっております。

次に、第9条、利益剰余金の処分ですが、3億5,583万9,000円を減債積立金に処分するものとしております。

続きまして、302ページのキャッシュ・フロー計算書をお願いいたします。

キャッシュ・フロー計算書につきましては、1の業務活動、2の投資活動、3の財務活動の3つに区分しまして資金の流れを表しております。

令和4年度末残高を5億1,856万2,000円と見込んでおります。

続きまして、下水道事業の歳出につきまして、資料番号3の予算の概要で説明いたします。

**○下水道課長（只腰篤樹君）** 続きまして、下水道事業会計の収益的支出について御説明をいたします。

予算の概要の115ページをお願いいたします。

款1下水道事業費用、項1営業費用、目1公共管渠費になります。

公共下水道の管渠やマンホールなどの維持管理に係る費用で8,800万円ほどを計上しています。主にマンホールポンプの維持管理委託、下水道管に流れ込む不明水や管渠の劣化状況を確認するためのテレビカメラ調査を行います。

前年度対比で1,880万円ほどの減額といたしましたのは、前年度には単発的な土田特別都市下水路関連の業務委託を計上していたためです。

続いて、その4つ下、目5雨水管渠費になります。雨水幹線の維持管理に要する費用で、事業は建設部土木課が所管をしています。

令和4年度は1,300万円ほどを計上しています。主に土田地区の花軒雨水幹線の概略検討委託を予定しています。そのほか雨水幹線沿いの除草など維持管理を行います。前年度対比で220万円ほど増額といたしましたのは、調査委託業務の内容の違いによるものです。

特定財源は、雨水処理負担金となります。以上です。

**○上下水道料金課長（和田 誠君）** 1つ項目を戻っていただきまして、目4流域下水道維持管理負担金です。

木曾川右岸流域下水道の維持管理負担金として、令和4年度予算は6億5,520万6,000円、前年度と比較すると1,745万3,000円の増額です。

近時の汚水量の実績に基づきまして、流域下水道に排出する汚水量の増加が見込まれるためでございます。

続きまして、目7総係費です。

事業全体の費用として令和4年度予算は9,432万2,000円で、前年度と比較すると1,297万9,000円の増額です。

主なものは、職員の人件費が7,612万1,000円、下水道台帳の修正業務の委託料が616万円

などとなっております。

特定財源としましては、一般会計からの負担金120万円を充当いたします。

続きまして、116ページをお願いいたします。

項2 営業外費用、目1 支払利息及び企業債取扱諸費です。

借入金の利息分で令和4年度予算は2億794万4,000円で、前年度と比較しますと3,845万円の減額です。

特定財源として、雨水処理負担金、一般会計負担金を合わせて1億6,989万円を充当しております。

以上のことから、収益的支出は25億4,900万円となりまして、前年度比で2,400万円の減額となります。以上です。

**○下水道課長（只腰篤樹君）** 次に、資本的支出について御説明いたします。

予算の概要の117ページを御覧ください。

先ほど重点事業説明シートにて目1 公共建設事業費、目3 雨水建設事業費、目6 固定資産購入費については御説明させていただきましたので、下水道課のほうからは、目2 特環建設事業費について御説明させていただきます。

特定環境保全公共下水道区域内のマンホールポンプの維持管理や、新たな下水道管布設を行う事業費で2,650万円ほどを計上しています。

前年度対比で620万円ほどの増額となっている主な要因は、区域内での住宅建築に伴う本管延長を見込んでいるなど事業量の変動によるものです。

特定財源は企業債です。以上です。

**○上下水道料金課長（和田 誠君）** 続きまして、目4 流域下水道建設費です。

木曾川右岸流域下水道事業の建設負担金として、令和4年度予算は8,821万1,000円で、前年度と比較すると912万5,000円の減額です。

流域下水道事業におきましては、幹線管渠の管更生工事、水処理施設の機械電気設備更新工事を予定しており、これらに対する市の負担金となります。

特定財源は企業債です。

次に、目5 事務費です。

建設改良事業費に係る職員の人件費等としまして、令和4年度予算は1,922万7,000円で、前年度と比較すると600万4,000円の減額となります。

主な要因は、職員1人分の人件費を3条職員に振り替えたことによります。

続きまして、118ページをお願いします。

項2 償還金、目1 企業債償還金です。

借入金の元金償還分として令和4年度予算は16億7,982万5,000円で、前年度と比較すると425万6,000円の減です。

特定財源としまして、一般会計からの出資金4億8,127万1,000円を充当いたします。

以上のことから、下水道事業会計の資本的支出は、117ページ最上段にありますように21

億1,400万円で、前年度比で4,300万円の減額となっております。

これで令和4年度の下水道事業会計の説明を終わります。

以上をもちまして、水道部の説明を終わらせていただきます。

○委員長（伊藤 壽君） ありがとうございます。

それでは、補足説明を求める方は発言をしてください。

補足説明はございませんか。

〔挙手する者なし〕

それではないようですので、水道部所管の説明はこれで終わります。

執行部の皆さん、お疲れさまでした。

以上で、本日の本委員会の会議の日程は全て終了いたしました。

これで終了してもよろしいですか。

〔「異議なし」の声あり〕

本日はこれにて散会をいたします。

なお、明日3月1日午前9時より予算決算委員会を再開いたします。大変お疲れさまでございました。ありがとうございました。

閉会 午前11時39分



前記のとおり会議の次第を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和4年2月28日

可児市予算決算委員会委員長